

# 理財部会長報告

会議名 **第1回理財部会  
(オープン部会)**

日時 **2024年5月22日(水)  
14:00~16:00**

場所 **にぎわい交流館AU 多目的ホール**

出席者 **理財部会員15名、他部会員20名 計35名**

懇談

【第一部】 **求められる『少数精鋭の成長モデル』への自己変革**

日本商工会議所 産業政策 第二部部長 大下 英和 氏

【第二部】 **未来を支える人材投資・確保対策**

秋田県産業労働部 雇用労働政策課 政策監 石井 幸樹 氏



## 1, 直面する「現実」、来るべき「未来」

### ■かつてなく深刻化する人手不足

- ・あらゆる業種で人手不足は深刻化している。
- ・賃上げできない企業は人員を確保できない。
- ・転職希望者が増え働く人の意識と価値観が変化している。

新規採用のみに頼らない人手不足を解消するためのアクションが必要。



### ■求められる「働き手の多様化」への対応

- 女性…今いる女性社員が男性と同じように働ける企業の意識改革
- シニア…自社の継続雇用と他社をリタイヤした経験豊富な人材の採用
- 外国人…監理団体や特定技能支援機関のサポートを活用した受入れ環境整備

人手不足に対応するためには、女性、シニア、外国人、障がい者など多様な人材を活躍させていく取組が求められる。

## 2, 中小企業が目指すべき「姿」

### ■ 3つのチャレンジ

#### (1)徹底した省力化

ソフト導入や機械化によるコア業務への集中とムダの排除、デジタル化・機械化・外注化の推進、過剰品質・サービス見直し

#### (2)徹底した育成

経営の見える化で学ぶ意欲向上、研修等による技術ノウハウの共有化、公的職業訓練の積極活用

#### (3)徹底した多様性

女性・シニア・外国人・障がい者の多様な人材への配慮と理解、柔軟な働き方を選択できる働き方の多様性

### ■ まとめ

「3つのチャレンジ」により働きがいと働きやすさが向上することで、従業員のモチベーション向上やスキルアップにも繋がり、事業の成長と収益の改善も実現する。

厳しい人手不足を乗り越えるためにも「少数精鋭の成長モデル」を目指して欲しい。

## 【第二部】未来を支える人材投資・確保対策＜秋田県＞

### ■未来を支える人材投資・確保対策本部の設置

ビジネス環境変化に対応した**人への投資を進め労働力の質の向上を図り、企業の人材確保、生産性向上や賃金水準の引き上げ、成長分野等への労働移動につながる人への投資**に全庁をあげて取組むため、昨年対策本部を設置し、下記の事業を推進している。

### ■人材投資・確保対策

#### 主要対策

- (1)労働力の効果的な配置
- (2)人材育成・職場定着の促進
- (3)企業イメージ・魅力発信の向上
- (4)多様な人材の労働参加の促進

#### 新規事業

- ・ **あきた企業連携型奨学金返還助成金制度** 若者の県内定着・回帰
- ・ **秋田県中核人材確保・定着環境整備支援事業** 中核人材確保・定着、環境整備
- ・ **秋田県中核人材育成支援事業** 中核人材育成
- ・ **外国人材受入サポートセンター設置** 受入れサポート強化

### ■まとめ

このほかにも「人材投資・人材確保」に関する各種支援事業があるので人手不足対策として積極的に活用いただきたい。